

大いちょう

令和7年1月8日
岐阜市立加納幼稚園
園長 藤井 佐由美

あけましておめでとうございます！！



冬休み前の終業式に、子どもたちに約束をしました。『病気やケガをしないように元気に過ごすこと』『優しい人でも（お菓子をくれたり、お母さんのところに連れて行ってあげるよと言われてたりしても）知らない人にはついていけないこと』『頭や体を使っていっぱい遊ぶこと』この3つです。ちゃんと約束が守れるように魔法をかけておきましたが、効果はあったでしょうか。

終業式の頃には、学校評価に関わる保護者アンケートへのご記入をありがとうございました。個別のご意見もいただく中で、丁寧な説明が必要だと思ったことについては、教頭から個別にお話をさせていただきました。検討事項につきましては、幼稚園で引き続き話し合いをし、必要に応じて本部役員さんとも協議していきたいと思っております。



冬休み明けの、子どもたちの楽しかった経験等を聞けることを楽しみにしております。



12月には家庭教育学級（おひさま学級）にて、園長講話の機会をいただきました。これまでとこれからの時代について多くの情報の中から、「未来を生きる子どもたちにどんな力をつけることが求められているのか」ということと、「そのために、幼稚園がどのような保育を実践しているのか」について、主にお話させていただきました。内容は少し異なるものの、12月17日には、幼児教育施設にかかわる先生方、小学校関係者、その他の施設関係者などを対象とした「ステップアップ研修会」の中で、「探究心と創造力を育む幼児教育」というタイトルでお話させていただきました。このように、岐阜市立幼稚園の教育が、クローズアップされています。講話の内容を、少し補足させていただきたいと思っております。加納幼稚園は、子どもたちが主体的に遊びを選択して自由に遊ぶ時間を保障しておりますが、それは、環境構成を丁寧に行う中で、子どもが思わずやりたくなるような場面を作り、環境の中に教師が意図的・計画的に、季節や発達に応じた経験させたい内容を含ませているからこそ成立しているものです。また、全てが自由ということではなく、クラス単位、学年単位、全園児単位で行う活動、片付け、給食、帰りの会の他、遊びの深まりや広がりによっては、グループ単位、クラス単位、学級単位、全園児単位で、一定期間活動することも取り入れています。今後、社会の中で生きていくためには、集団での活動を楽しみと感じながら共有したり共感関係を築いたりする経験が必要です。その入り口として、気持ちや思いの違いに気づき、徐々に相手の思いを受け容れたり折り合いをつけたりする経験（人と関わる力の育成）も必要です。自由というのには責任を伴いますし、主体的というのは自分の好きなように過ごすこととは異

なり、自らよりよい生活を創り出すことを意味しています。最近では「共主体」という言葉が使われ、それは、自分の意見を主張しながら周りのことも考えられることを意味しています。そのことを踏まえて、幼稚園では、思いがぶつかったときを学びのチャンスと捉え、互いの思いを伝え場面を保障し、大人が『けんか両成敗』と教えるのではなく、一人一人のそうせざるを得ない心持ちに寄り添い、心を育てているのです。自分で、「やらない！」と決めてしまっているときには、その原因を探りながらどうしたら経験する気になってくれるのかを考え、環境を整え、スモールステップで支援しています。その上で、楽しいと感じていることに教師も寄り添い、探究心や創造力を育てています。なんでも大人の都合で、「～しなさい。」ばかり言っていると、子どもは諦めたり、指示をまったりしてしまうことがあると思います。でも、大人が何も言わないこともよくありません。子どもにとって「躰」は重要です。公共の場で、他者の迷惑になるようなことは注意する必要もありますし、時間や場所、人との関わりの中で「～しなければならない」こともあるでしょう。そんなときには、「どうしていけないのか」「どうしてそうすることが必要なのか」を発達に応じて子どもに分かるように説明しながら、折り合いをつけることも大切です。子どもが間違えてしまった時には、大きな声を出して怒るのではなく、毅然とした態度で伝えることが大切です。

いずれにしても、子どもの興味・関心がどこに向かっているのかを丁寧に寄り添い、読み解くことが大切であると思います。日々の保護者の方の関わり（家庭での心理的安全性の確保）により、子どもたちは幼稚園でも安定して遊びに夢中になり過ごせています。本当にいつも丁寧な子育てをありがとうございます。

3学期は、あっという間だと思しますので、一日一日を丁寧に過ごしていきたいです。どうぞ、温かいご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



《1月の保育について》

【3歳児】

<ねらい>

- いろいろなお正月遊びに興味をもつ。
- 気の合う友達と一緒に同じ遊びをして楽しむ。

【4歳児】

<ねらい>

- 自分なりの表現を楽しんだり、いろいろなことに挑戦したりする。
- 友達の思いを聞いて理解しようとする。

【5歳児】

<ねらい>

- 友達と考えを出し合いながら遊びを進めることの楽しさを感じる。
- クラスのみみんなで一つの目的に向かって取り組む楽しさを味わう。



お知らせとお願い

○PTA専用のパソコンについて

PTA専用のパソコンが新しくなりました。Windows 11モデルです。これまでの物よりは、きっと使いやすくなっているのではないかと思います。どうぞご活用ください。

○預かり保育の申込について

預かり保育の申込は、原則、前月の20日までの締め切りを厳守していただきますようご協力お願いいたします。

公立幼稚園の預かり保育は、国の補助を活用して運用しております。そのため、『岐阜市立幼稚園一時預かり事業実施要綱』に基づいており、申込書は様式第1号（第5条関係）と指定されております。申込書が提出されると、幼稚園から「利用決定通知書」が発行され初めて利用が認められます。また、利用人数による「おやつ」の準備もあり、3月は特に見込み人数を明確化していきたいところです。

これらに伴い、前月の20日までに申込をしていただく必要があるのです。どうしてもやむを得ない事情がある場合、定員を満たしていない時のみ前日までの申込を受け付けておりますが、まずは、前月20日までの期限を守ってくださいますようよろしくお願いいたします。

また、利用後に「利用者負担金」を納入していただくことになっておりますが、支払いが繰り返し遅延するようなことがありますと、市役所から「督促状」が届くこともあります。これを踏まえて期日までに指定口座に納入額のご準備をくださいますようよろしくお願いいたします。

○年長児の卒園記念作品について

例年、卒園記念作品として、「楽焼粘土」を制作していましたが、今年度は、行事を含め年間を通して「乗り物」に興味を深める子どもが多く、一人一人が大切に「自分の動く車」を制作しましたので、それを卒園記念作品とさせていただきます。そのため、当初予定しておりました保護者の方から別途300円を集めることはいたしません。（手作りチケットは本当に嬉しかったです。）例年通り、PTA会計からの支出とさせていただきます。（実際は、モーター、乾電池、タイヤ、竹ひご、電池パック等を含めて楽焼粘土の総額と同等ほどになりました。）

新たな作品作りに担任が付きっきりで時間をかけるより、子どもたちと思い切り遊ぶ時間の確保を優先したいと考えました。予め、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。